

飯綱町立

三水小学校

明日へ

令和2年 3月2日

学校だより第16号

文責：山田

## お願いとおわび

### <人生の禍福は予測できない>

かつて巨人軍やニューヨークヤンキースで活躍していた松井秀喜選手。平成18年(2006年)5月11日の試合で左手首を骨折し、しばらく試合に出られない時がありました。著書「不動心」(新潮新書)の中で次のように語っています。

「僕の左手首は、医学上は完治しても、野球選手として元通りにはならないでしょう。しかし、元に戻らないならばトレーニングや打撃フォームを工夫して進化すればいいのです。いつか『骨折してよかった』と言える日を思い描いて、頑張っていくつもりです。人間万事塞翁が馬。そう信じれば、決して絶望する必要はありません」

と語っています。「人間万事塞翁が馬」とは、人生の禍福は転々として予測できないことのたとえで、二千年以上も前に書かれた思想書から生まれた故事成語です。不運に見舞われたり、思い通りにことが運ばなかったりすると、どうしてもがっかりし、イライラするものです。そのことで心が乱れて、バッティングが乱れて、次にチャンスが来ても打てなくなる、つまり自分が苦しむことになるのでしょう。そのため平常心でいることの大切さに触れています。

松井選手が高校3年の時に出場した夏の甲子園で、5打席連続敬遠になったことは有名です。しかし当時の巨人軍長嶋監督は、テレビで見ている連続敬遠になったことをよく覚えてくれていたそうです。また日本中から注目されるようになりました。左手首を骨折し、当時続いていた連続出場の記録がストップしてしまったこと、試合に出られなくなったこと、運動禁止になったことなど、大きな不安があったことと思います。しかし「結果を左右するのは、願いの強さよりも平常心ではないか」とも語っています。年間160を越える試合に出場するのですから、体力はもちろんですが、こうした心のもち方がとても重要になるわけですね。大切なことを学びました。

### <突然のことでご心配をおかけしています>

2月27日(木)夜の総理大臣の発言で、どちらのお宅も大きな不安を抱えられたことと思います。翌28日に国から正式に要請が来たことを受け、町教育委員会、町内の校長で協議をしました。その結果、飯綱町の小中学校は、3月2日午後から春休みまで臨時休業にすることといたしました。文部科学省が示す、「児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について(第二報)」(令和2年2月25日)の「感染者がいない学校も含む積極的な臨時休業について」により、流行早期にあたる時期に臨時休業をすることにより地域全体での感染防止につながることを、安部晋三内閣総理大臣の要請を受け、児童の健康と安全を第一に考えた結果、判断したものです。

また16日(月)に終業式と離任式、17日(火)に6年生とその保護者、教職員のみで卒業式を行うこととしました。3学期の残った日数で子どもたちといろいろな話をしたり、学校だよりや「7分間thinking」などでやり取りをしようと思っていたのですが、残念です。特に卒業していく6年生とはお別れになりますから、寂しいなあと思います。しかし私以上に、子どもたちや保護者の皆様はつらく、悔しい気持ちが強いことでしょう。大変申し訳ありません。今回のことを緊急事態ととらえ、これ以上ウイルスが広がらないよう注意して生活していきたいと思っております。なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

子どもたちは、3学期の残りの時間でやろうとしていたことがいくつもあり、楽しみにしていたことでしょう。「6年生ありがとうの会」を準備してくれていた5年生をはじめ、子どもたちは気持ちを込めて6年生を送ろうとしていたのにできない悔しさやつらさを感じていることでしょう。一日も早く感染が下火になり、本来の学校生活を取り戻せることを期待しています。

「人間万事塞翁が馬」について触れましたが、今回の措置が好転することを信じて、冷静に考えながらこの3月を過ごしたいと思っております。